

# 世界保健機関の車椅子・支援機器関係資料翻訳事業

一般社団法人 日本車椅子 シーティング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-1 5 浜松町三電舎ビル 2 階

## 助成事業の概要

WHO が発行している車椅子・姿勢保持関係資料を、当会の国際協力事業の参考資料および世界の潮流を知るための資料として翻訳・公開した。今回翻訳したものは以下の通り：

- ・車椅子サービス教習員養成教習パッケージ：  
書籍 6 冊（教習員指導書 3 冊（基礎、中級、管理者 / 関係者向け）、教習員養成教習ハンドブック 3 冊（基礎、中級、管理者 / 関係者向け）、付属資料）  
パワーポイント 18 ファイル
- ・支援技術に関する世界報告書（10 月にいったん翻訳を完成したが、直後に WHO による全面的な改訂が入り、専門家による閲読・承認のプロセスを再度経るため、改訂版の翻訳は 2024 年度の事業となった。本報告書には、参考資料として旧版の PDF を添付している）

事業実施日程は以下の通り：

2023.4

資料翻訳開始

2023.9

下訳完成、姿勢保持専門家、理学療法士との閲読・視聴会を開催。

2023.12

修正した完成稿を WHO の文献資料サイトおよび当会のウェブサイト（動画は YouTube にアップロードしリンク）にて公開  
(<http://www.j-aws.jp/who/>)。

## 事業の成果

今回翻訳した資料は全て本邦初訳であるが、いずれも車椅子や姿勢保持、およびそのサービス教育に関して、標準的な教材として世界的に普及している重要文献である。これらの翻訳は、当協会の今後の国際協力活動における基礎資料として役立つとともに、これらの資料に通底している、WHO はじめ世界の諸機関の障害や支援技術に対する、人権重視、ユーザー中心、参加とインクルージョンの促進といった基本的な考え方を知ること、国内の車椅子や身体障害、社会福祉に関わる団体・機関にとっても、これらのテーマに関する世界的な水準や認識を把握し、また講習などを企画し、政策を検討する上での基礎資料となる。

本事業は、これまでに多くの肯定的なフィードバックをいただいている。リハビリテーション医からの将来の講習資料のモデルにするとよいとの助言、理学療法士からの職場での研修などに活用したいとのコメント、小児理学療法士を中心にした、本事業の翻訳資料を用いた講読会などは昨年度の事業報告でも紹介したが、今年度は WHO の障害担当者より、これまで翻訳した資料を当協会のウェブサイト 1 ページでまとめて公開していることへの賛辞が寄せられ、これまでは参考資料ページに掲載されていた当会の翻訳資料の一部が、WHO 本体の出版物ページで公開されるようになっている。

また、当会の国際協力事業においては、海外の大学関係者、車椅子・姿勢保持供与者との対話にお

ける共通の語彙・概念的基盤となり、より円滑なコミュニケーションが可能になっている。

## ■ 成果の広報・公表

書籍に関しては WHO の取り決めに従い、WHO のウェブサイトにてプレゼンテーションや各種フォームを含む全資料の PDF 版を公開している (<https://iris.who.int/handle/10665/258701>)。また当協会のウェブサイトダウンロードページ (<http://www.j-aws.jp/who/>) を設けて動画やポスターを含む全ての資料を公開し、広く利用に供している。この翻訳・出版に関しては当協会の会員企業、関係者に通知し、また身体障害・リハビリテーション・社会福祉・支援機器の関係機関・省庁・国際機関、WHO-GATE などの国際的ネットワークへ、積極的に広報を進めている。

## ■ 今後の展開

引き続き、2024 年度は以下の翻訳と出版（公開）を進めて行く予定である：

- ・ WHO-UNICEF 支援技術に関する世界報告書 (2023.10 改訂版)
- ・ WHO 車椅子子供与ガイドライン
- ・ WHO 優先的支援製品リスト

また、当協会国際委員会アジア姿勢保持プロジェクトでは、これまで翻訳した資料を参考に、またそれらにリンクさせる形で、独自の低リソース地域向け姿勢保持装置およびそのマニュアル・研修教材作成に取り組んでいる。